

調査・研究評価検討会議事要旨

1. 日 時 令和4年6月8日（水） 13時30分 ～ 16時30分

2. 場 所 財務省関税中央分析所 大会議室

3. 出席者

【外部専門家】

（座長）国立大学法人 筑波大学 数理物質系 特任教授

喜 多 英 治

元 一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会 調査研究部長

嵩 比呂志

公益財団法人 総合安全工学研究所 事業部長

中 村 順

【関税中央分析所】

所長 徳 正 芳

主任研究官 大 村 庸 一

第1調査研究室長 篠 原 淳一郎

第1調査研究室研究官 今 村 洋 太

第2調査研究室長 中 村 一 平

第2調査研究室研究官 原 裕 樹

第2調査研究室研究官心得 齊 藤 崇

第2調査研究室 飯 田 拓 之

（事務局）

総務課長 田 中 良 和

総務係長 伊 藤 博 毅

4. 議事概要

（1）調査・研究をとりまく背景等について、事務局から説明が行われた。

（2）調査・研究課題の評価について、大要次のような議論が行われた。

○ AI 映像解析による監視取締りに関する調査研究（事前評価）

本研究は、AI 等の先端技術を上手く活用し、監視カメラ映像による有効情報の発信が行えるようになれば、効果的かつ効率的な取締りが可能となり、不正薬物等の厳格な密輸取締りが期待される。

なお、本研究を進めるに際しては、実運用への展開において想定される課題の把握に努め、これを反映し取り組むことが望ましい。

以上のことから、本研究を進めることは妥当である。